保証書　持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothクロックラジオ			★お買い上げ日：　年　月　日
型　番	RAD-MBT100Z-W/K/P	品　番	07-8963/8964/8965	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)

お客様	
	ふりがな ★お名前　様
	★ご住所　〒　ー 電話　(　)

修理メモ

販売店	
	★住所　店名　電話 ㊞

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室へ
●通話料無料　●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006　048-992-2735
電話受付　平日9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日9：00～17：00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

07-8963/8964/8965A

AudioComm®

保証書付 取扱説明書

Bluetooth クロックラジオ

型番：RAD-MBT100Z-W/K/P　品番：07-8963/8964/8965

このたびは、AudioComm® Bluetoothクロックラジオをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……1
安全上のご注意……2～4
Bluetoothについて……5～6
USBフラッシュメモリー／SDカードについて……7
電源について……8
各部の名称……9
時刻の設定方法……10
ディスプレイの明るさを調節する……10
ラジオを聴く……11～12
Bluetoothで音楽を楽しむ……13～14
USBフラッシュメモリーやSDカードの音楽を聴く……15
AUX IN(外部音声入力)端子で外部機器と接続する……16
アラームの使いかた……17～18
スリープ機能……19
故障かなと思ったら……20
お手入れのしかた……21
主な仕様……21
保証書とアフターサービスについて……22
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- ●弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- ●本製品によって生じたデータの消失または破損
- ●本製品のために費やした時間及び経費
- ●本製品を運用した結果もたらされた損害
- ●本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- ●本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。(左図の場合は感電注意が描かれています。)
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。(左図の場合は分解禁止が描かれています。)
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。(左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く、が描かれています。)

⚠ 警告

コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	禁止	**医療機器の近くで使わない** ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などが入った場合は、電源プラグをコンセントから抜く** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	22cm以上離す	**心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す** ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
接続場所を選ぶ	**電源プラグはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、異常が発生した場合は速やかに電源プラグをコンセントから抜く** ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれがあります。 ●本機の電源を切っただけでは、完全に電力を遮断できません。	接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及び電源コードに触れない** ●感電の原因となります。
		乾電池に注意	**乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする** ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

次ページに続く

⚠ 警告

分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。
水かけ禁止	**本機を水のかかる場所や湿気のある場所で使わない** ●感電や故障の原因となります。
禁止	**狭い場所や壁に押し付けるなど、通気が妨げられる場所に設置しない。また、新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどを本機にかけて覆わない** ●火災の原因となります。
禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。
禁止	**本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、火災の原因となるような物を置かない**
禁止	**本機の上に花瓶などの水が入った物を置かない** ●火災・感電の原因となります。
禁止	**電源コードを敷物などで覆わない** ●気づかず重い物を載せてしまい、火災・感電の原因となります。
禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●電源コードが破損して火災・感電の原因となります。
禁止	**本機や電源コードの上に重い物を載せたり、電源コードの上に本機を載せない** ●電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
使用を中止する	**電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。

⚠ 注意

禁止	**調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。
禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
禁止	**電源コードを熱器具に近づけない** ●電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない** ●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。
ぬれ手禁止	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
乾電池の極性に注意	**乾電池は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れる** ●間違えると乾電池の破裂、液もれにより火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**指定以外の乾電池や使用推奨期限を過ぎた乾電池は使用しない。また古い乾電池と新しい乾電池、種類の異なる乾電池を混ぜて使わない** ●乾電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

⚠ 注意

禁止	**電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない** ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**電磁波を発生させる機器(携帯電話、テレビ、モニターなど)に近づけない** ●電磁波によりお互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。
音量は小さく	**長時間、大音量で聴き続けない** ●聴力障害などの原因となることがあります。 ●はじめから音量を上げすぎないでください。
コンセントから抜く	**お手入れの際には安全のため電源プラグをコンセントから抜く** ●感電の原因となることがあります。
コンセントから抜く	**移動させるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く** ●電源コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
アンテナを束ねる	**持ち運ぶときは、アンテナを壁などから取り外して束ねる** ●伸ばしたまま運ぶとアンテナが引っ掛かったり、当たったりなどしてけがの原因になることがあります。
コンセントから抜く	**旅行などで長期間本機を使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。
掃除をする	**電源プラグとコンセントの接続部を定期的に掃除する** ●電源プラグとコンセントの間にほこりがたまると自然発火(トラッキング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。 ●使用環境にもよりますが、2年に1回程度、機器内部の掃除をお勧めします。最寄りの販売店にご相談ください。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・取り外した乾電池を幼児に触らせない ・ショートさせない ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない
⚠ 注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使用推奨期限内の乾電池を使う ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池を一緒に入れない ・使い切った乾電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

Bluetoothについて

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは、世界標準規格によって特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】　Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR

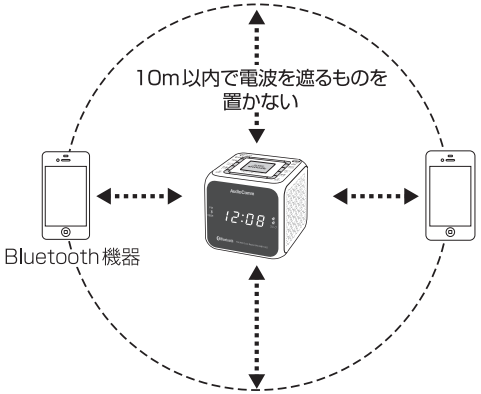
【対応プロファイル】　・A2DP（高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル）

・AVRCP（再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル）

●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。



セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、当社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼ってある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられることがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

本製品の使用周波数帯（2.4GHz帯）では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、及びアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。

1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室（保証書参照）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。

●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。

●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。

●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。

●医療機関内では次のことを守ってください。

・手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には持ち込まない。

・病棟内では本機を使わない。

・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。

・その他、医療機関による使用制限

・使用禁止指示は必ず守る。

●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

USBフラッシュメモリー／ SDカードについて

本機で使用できるUSBフラッシュメモリー／ SDカード

USBフラッシュメモリー、SDカードともに8GB～32GBまでのタイプを推奨します。

●上記を超える容量のメディアを使用すると、読み込みに時間がかかったり、動作が不安定になる場合があります。
●対応ビットレート／ 32～320kbps
●本機では1つのフォルダーにつき最大999個のファイルを認識し、再生できます（フォルダー階層は最大8階層まで認識）。その際、再生可能な総ファイル数は1999個となり、それを超えると再生できない場合があります。また、フォルダーの中にフォルダーが入っている場合、中のフォルダーも数に算入されます。
※上記容量を超えるフォルダー／ファイルは読み込まれません。また、上記の仕様内であっても、メディアの状態やフォルダーの階層構造、ファイル形式の都合により、読み取れなかったり、フォルダー数や総曲数などが実際の数と違って表示されることがあります。
●他の電子機器などで初期化されたメディアの使用は避けてください。正常に動作しない、または認識しない場合があります。
●すべてのUSBフラッシュメモリー及びSDカードについて動作を保証するものではありません。
●ディスクやファイル記録時のレコーダーの状態によっては、再生開始までに時間がかかったり、再生されない場合があります。

ファイル形式について

●本機ではMP3形式の音楽／音声ファイル（MP3ファイル）を再生できます。ファイル名に「.mp3」の拡張子が付いていることを確認してください。拡張子がない場合や「.mp3」以外の拡張子が付いている場合は再生できません。また、読み取りできないメディアが装着された場合は「no」と表示されます。
●DRM(デジタル著作権管理)ファイルの再生はできません。
●MP3ファイルのみを記録したメディアをお使いください。そのほかのファイルデータ（例えばJPEGデータやtxtデータなど）が混在していると再生できません。

操作上のご注意

重要
●不具合の原因となりますので、動作中のUSBフラッシュメモリーやSDカードには触れないでください。
●抜き差しする際は、必ず電源が切れている状態で行なってください。電源が入っているときに抜き差しすると、データが破損するおそれがあります。

●USB端子はUSBフラッシュメモリーによる再生専用です。
●市販のUSBハブは使えません。USBフラッシュメモリーを直接USB端子に差し込んでご使用ください。
●メディアの仕様やフォーマット形式、ご使用状況により、正常に再生されないことがあります。
●USBフラッシュメモリー及びSDカードに大切な音楽／音声ファイルがあるときは、あらかじめパソコンのハードディスクやCD-Rなどにコピーを取ることをおすすめします。

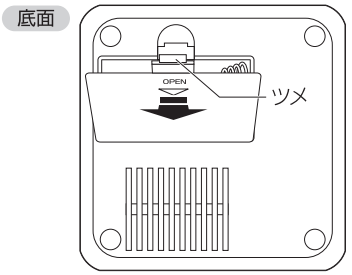
ファイルの再生順

●メディア内のMP3ファイルの再生順は、メディアへの記録順に従います。
●同じ階層に複数のフォルダーが存在する場合は、先に記録されたフォルダー内のファイルを再生します。
●同じ階層にフォルダーと単独のファイルが混在する場合は、単独のファイルを再生した後に、フォルダー内のファイルを再生します。
※ファイルの追加、削除、同一ファイル名での上書き、記録日時の差異などにより、必ずしも上記通りの再生順を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

電源について

時計バックアップ用乾電池について

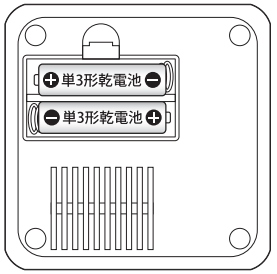
時計バックアップ用乾電池を入れておくと、停電時でも時刻設定を保持します（ディスプレイ表示はしません）。



1 本機底面にある電池ボックスカバーのツメを押し下げながら手前に引き、電池ボックスカバーを取り外します。

2 単3形乾電池2本（別売）を図の通り正しく入れます。
●コイルばねのあるほうがマイナス（⊖）です。⊖側から先に入れてください。

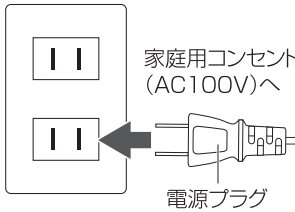
3 入れ終わったら、電池ボックスカバーを元通りにしっかり閉めます。

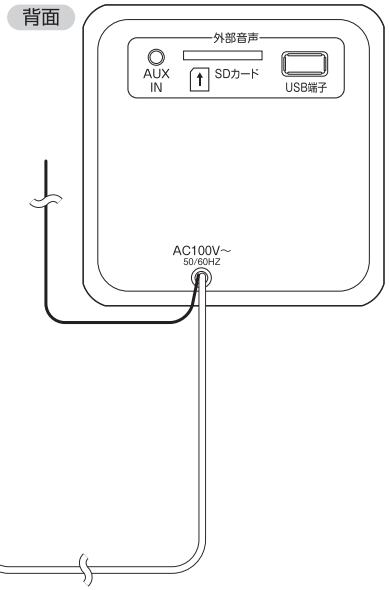


単3形乾電池2本（別売）

家庭用電源への接続

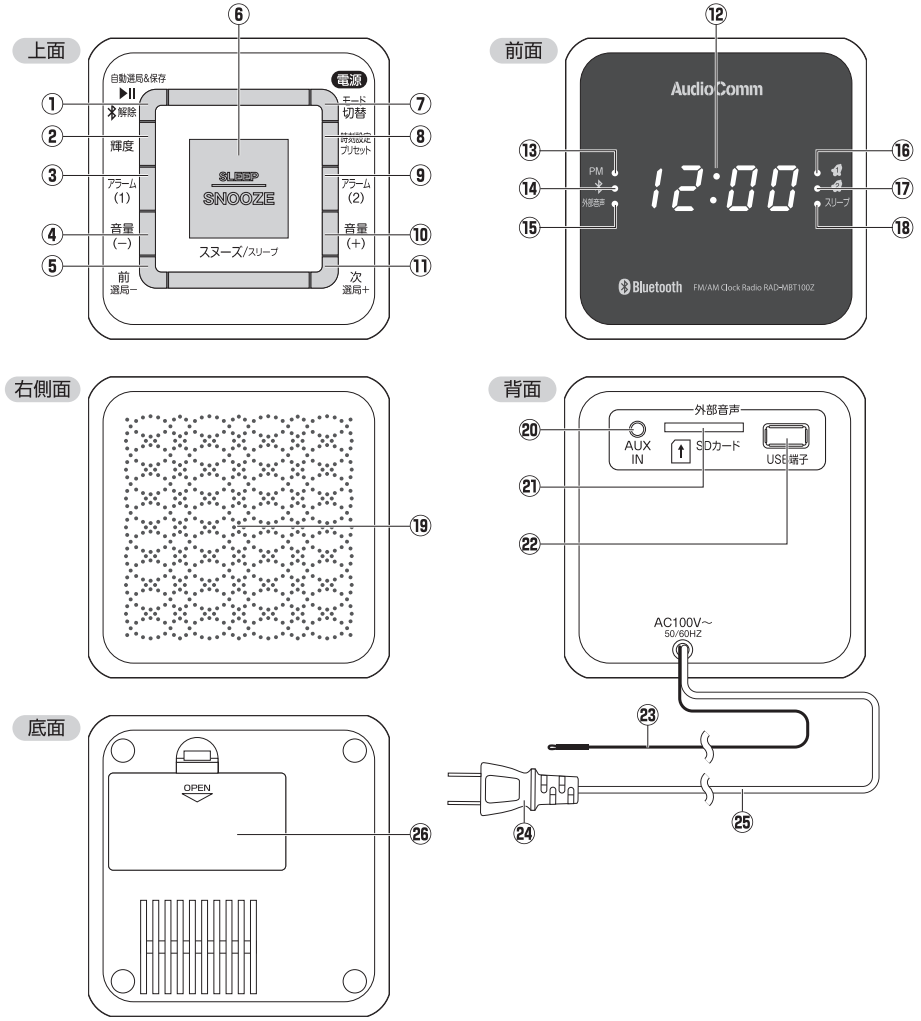
電源プラグを家庭用コンセントに差し込みます。
●電源プラグを接続すると時刻表示が点滅します。
「時刻の設定方法」（P.10）を参照して、現在の時刻を設定してください。
●本機を使用しないときは電源プラグを家庭用コンセントから抜いてください。





⚠ 電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源が切れている状態で行なってください。

各部の名称



① 再生／一時停止ボタン
② 輝度ボタン
③ アラーム(1)設定ボタン
④ 音量(−)ボタン
⑤ 前／選局(−)ボタン
⑥ スヌーズ／スリープボタン
⑦ 電源／モード切替ボタン
⑧ 時刻設定／プリセットボタン
⑨ アラーム(2)設定ボタン
⑩ 音量(+)ボタン
⑪ 次／選局(+)ボタン
⑫ ディスプレイ
⑬ PM 表示ランプ
⑭ Bluetooth 接続ランプ
⑮ 外部音声表示ランプ
⑯ アラーム(1)ランプ
⑰ アラーム(2)ランプ
⑱ スリープランプ
⑲ スピーカー
⑳ AUX IN(外部音声入力)端子
㉑ SD カードスロット
㉒ USB 端子
㉓ FM ワイヤーアンテナ
㉔ 電源プラグ
㉕ 電源コード
㉖ 電池ボックスカバー

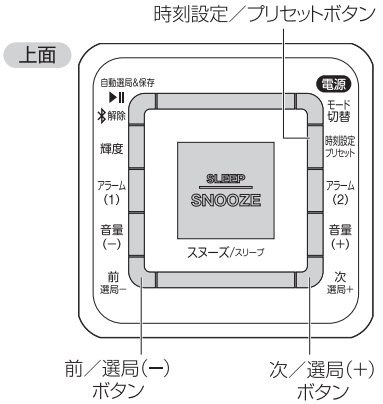
※①再生／一時停止ボタンは、各モードでの機能に準じて、Bluetooth関連のページでは「再生／一時停止／接続解除ボタン」、ラジオ関連のページでは「自動選局ボタン」と名称を代えて説明します。
※本機のスピーカーはモノラルです。左側面にスピーカーはありません。

時刻の設定方法

電源が切れている状態で操作してください。

1 電源が切れている状態で、時刻設定／プリセットボタンを長押しします。
●時刻表示が点滅するまで長押ししてください。

2 以下の方法で「時」と「分」を設定します。
●「時」の設定：前／選局(−)ボタンを押す。
●「分」の設定：次／選局(+)ボタンを押す。
どちらのボタンも押すたびに数字が変わります。長押しすると早く送られます。



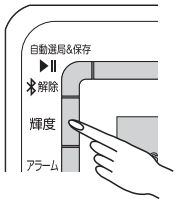
3 時刻設定／プリセットボタンを押すと設定が確定します。

ヒントとご注意

●約5秒間操作しない時間が続くと、それまでの設定で時刻が確定し、点滅が止まります。修正する場合は最初からやり直してください。
●**12時間表示と24時間表示について**：電源が切れているときに、時刻設定／プリセットボタンを短く2回続けて押すと、12時間表示と24時間表示を切り換えることができます。

12時間表示の例　　24時間表示の例

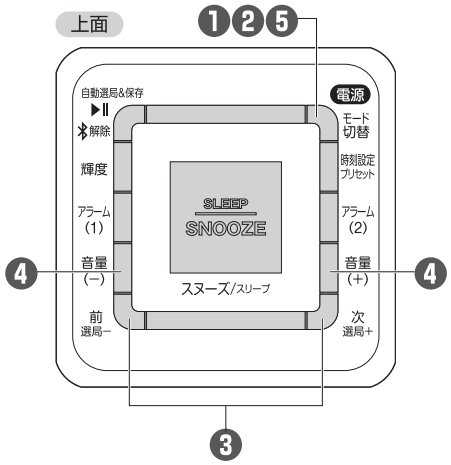
ディスプレイの明るさを調節する



輝度ボタンを押すとディスプレイ表示の明るさを2段階で切り換えることができます。

ディスプレイ表示：明　　ディスプレイ表示：暗

ラジオを聴く



❶ 電源／モード切替ボタンを押して電源を入れます。

❷ 電源／モード切替ボタンをさらに数回押して、FM放送またはAM放送を選びます。

●電源／モード切替ボタンを押すたびに、FM放送（周波数表示）→AM放送（周波数表示）→Bluetooth（bt）→USB（USb）→SDカード（Sd）→AUX IN（外部音声入力：AU）の順でモードが切り換わります。

❸ 前／選局（−）ボタンまたは次／選局（+）ボタンでお聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

●上記いずれかのボタンを押すたびに、FM放送では0.1MHz単位で、AM放送では9kHz単位で周波数が増減します。

●上記いずれかのボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、一番最初に受信できた放送局で止まります。

●周波数は約3秒間表示され、その後、時刻表示に戻ります。

❹ 音量（−／+）ボタンを押して音量を調節します。

●00〜32までの間で調節できます。

●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。

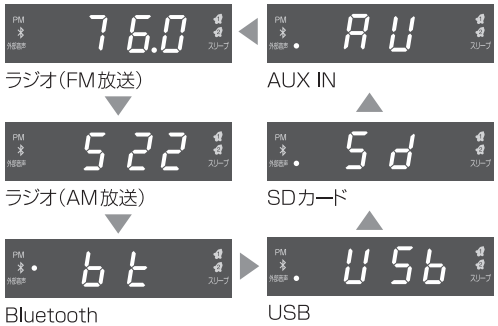
●約3秒後に時刻表示に戻ります。

❺ 終了するときは、電源／モード切替ボタンを長押しして電源を切ります。

●時刻表示に戻ります。

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数帯域が76.0〜108.0MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。
FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1〜94.9MHz周波数帯域を用いて補完的にAM番組を放送することです。
FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。



※ラジオの周波数単位表示（MHz・kHz）はありません。

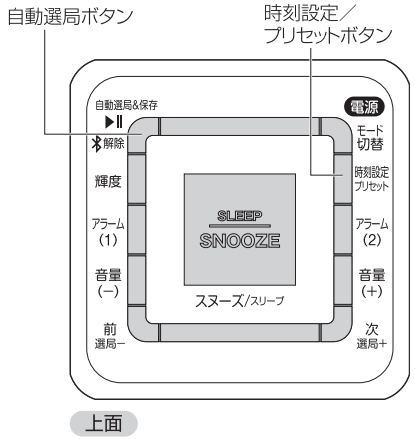
FM放送の受信例

AM放送の受信例

音量レベルの表示例

ご注意 音量を「00」にした場合、時刻表示に戻った際、時刻が点滅します。

プリセット登録について



ラジオモードのときに自動選局ボタンを押すと、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を一括登録することができます。

●スキャニング中に受信可能な放送局が見つかると、一時的にその音声を受信しながら、「P01」から順に登録していきます（AM・FM各最大30局まで）。またスキャニングが完了すると、「P01」に登録された放送局を受信します。

プリセット番号の表示例

●登録した放送局を呼び出すには、お聴きになりたい放送局のプリセット番号が表示されるまで、時刻設定／プリセットボタンを数回押してください。

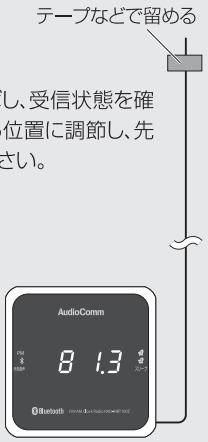
ヒント 受信状態を良くするには

●AM放送の受信

本機にアンテナが内蔵されています。本機を動かして最も受信状態の良い向きを見つけてください。室内の場合、窓際のほうが良く受信できます。

●FM放送の受信

FMワイヤーアンテナを伸ばし、受信状態を確認しながら最も良く聴こえる位置に調節し、先端を壁などに軽く留めてください。



ご注意

●テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると、雑音が入ることがあります。また室内アンテナを使用しているテレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機を離してご使用ください。

●持ち運ぶときは、破損防止のため、FMワイヤーアンテナを壁などから外し、束ねてください。

Bluetoothで音楽を楽しむ

はじめて使うときは(ペアリングのしかた)

ペアリングとは、Bluetooth機器(携帯電話やBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)に本機を登録し、通信を確立する操作のことです。

本機を登録していない機器と初めて接続するときは、必ずペアリングを行なってください。

多くの機器の場合、一度登録するとそれ以降は自動で接続されます。機種によってその都度接続操作が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽などの再生をお楽しみください。

1 手元に本機とBluetooth機器を用意します。

●両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。

2 電源／モード切替ボタンを押して電源を入れた後、さらに数回押してBluetooth(bt)を選びます。

Bluetooth接続ランプが点滅

●電源／モード切替ボタンを押すたびに、FM放送(周波数表示)→AM放送(周波数表示)→Bluetooth(bt)→USBフラッシュメモリー(USb)→SDカード(Sd)→AUX IN(外部音声入力：AU)の順でモードが切り換わります。

●Bluetoothを選ぶとBluetooth接続ランプが点滅し、サーチモード(接続可能な機器を探している状態)になります。

3 以下の操作を参照して、Bluetooth機器側で本機を登録します。

Bluetooth の設定画面を開く

iPhone： [設定]→[Bluetooth]	SoftBank： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク」→[Bluetooth]
Android： [設定]→[その他の設定]→[Bluetooth] [設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth 設定]	au： [設定]→[端末設定]→[無線とネットワーク」→[Bluetooth 設定]
NTT docomo： [アプリ]→[設定]→[Bluetooth]	Windows Mobile： [設定]→[接続]→[Bluetooth]

上記は参考例です。機種や搭載OSのバージョンなどにより、ボタンや項目の名称、画面展開が異なります。各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ順次進んでください。

本機を登録する

お使いのBluetooth機器側で本機の名称 RAD-MBT100Z が表示されたら、それを選択して登録します。
パスキーやPINコードを求められた場合は 0000 と入力してください。
※携帯電話によってはご自身で設定されたパスコードが必要な場合があります。

本機との接続が完了すると…

電子音が流れ、Bluetooth接続ランプが点滅から点灯に変わります。

4 接続したBluetooth機器側で再生などの操作を行なってください。

ヒントとご注意

●**対応プロファイル**：本機はBluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

●接続しようと思っている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。

●**一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったときは**：

・再生／一時停止／接続解除ボタンを長押しすると、Bluetooth接続が解除されてサーチモードになります(Bluetooth接続ランプが点滅します)。この状態でBluetooth機器側のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。

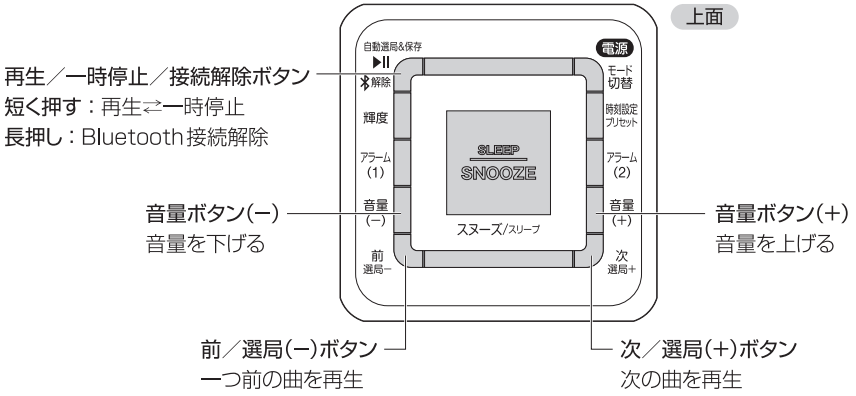
・上記を試しても正常に戻らない場合は、Bluetooth機器側で本機の登録を削除し、改めてペアリングをしてください。

●**ディスプレイ表示について**：

Bluetooth接続中は音量操作時を除いて現在の時刻が表示されます。また、音量レベルは約3秒間表示され、その後、時刻表示に戻ります。

Bluetooth接続時のオーディオコントロール

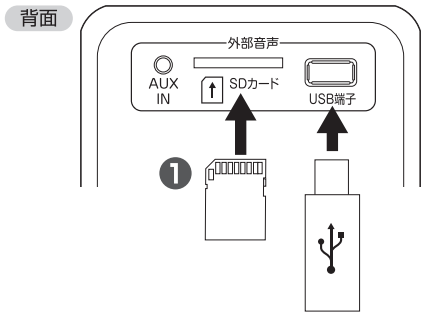
Bluetooth接続時は、本機でも以下の操作が可能です。ただし接続しているBluetooth機器によっては、操作できない、または実際の動作が異なることがあります。

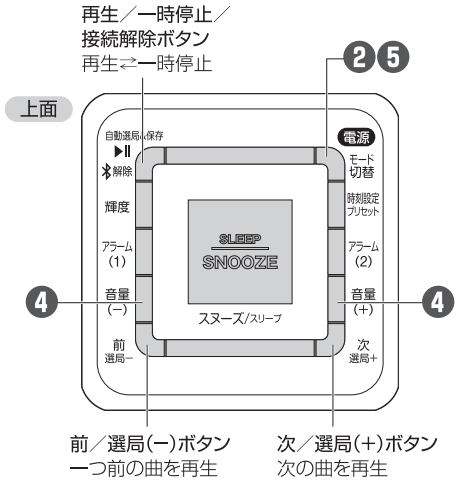


ご注意 終了するときは、Bluetooth機器側で再生を停止させるだけでなく、電源／モード切替ボタンを長押しして本機の電源も切ってください。本機の電源を入ったままにすると余分な電力を消費します。また、Bluetooth機器側も必要に応じて電源を切るなどの操作を行なってください。

USBフラッシュメモリーやSDカードの音楽を聴く

●あらかじめ「USBフラッシュメモリー／ SDカードについて」(P.7)をご確認のうえ、本機での再生に適したメディアをお使いください。
●メディアを装着するときや取り外すときは、必ず電源が切れた状態で行なってください。





1 電源が切れている状態で、USBフラッシュメモリーまたはSDカードを装着します。
●USBフラッシュメモリーはUSB端子に、SDカードはSDカードスロットにしっかりと差し込んでください。

2 電源／モード切替ボタンを押して電源を入れ、さらに数回押して、メディアに応じたモードを選びます。
●電源／モード切替ボタンを押すたびに、FM放送(周波数表示)→AM放送(周波数表示)→Bluetooth(bt)→USBフラッシュメモリー(USb)→SDカード(Sd)→AUX IN(外部音声入力：AU)の順でモードが切り換わります。
●それぞれのモード表示は、約3秒後に時刻表示に戻ります。

USB(外部音声表示ランプ点灯)

SD(外部音声表示ランプ点灯)

3 正しく読み込まれると自動で再生が始まります。
●メディアによって読み込み動作に時間がかかることがあります。
●再生開始後のボタン操作については、左図をご参照ください。

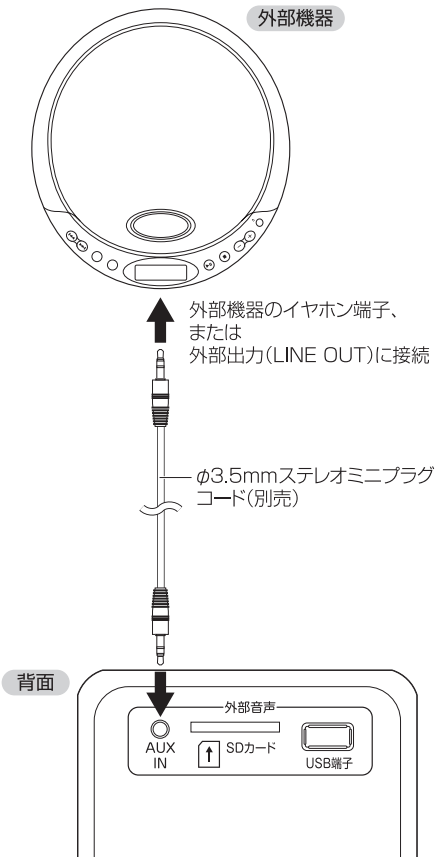
4 音量(−／+)ボタンを押して音量を調節します。
●00～32までの間で調節できます。
●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
●約3秒後に時刻表示に戻ります。

ご注意 音量を「00」にした場合、時刻表示に戻った際、時刻が点滅します。

5 終了するときは、電源／モード切替ボタンを長押しして電源を切ります。
●メディアを取り出す際は、必ず電源を切ってから行なってください。

AUX IN(外部音声入力)端子で外部機器と接続する

●Bluetoothに対応していない機器(ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなど)の場合は、φ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)を使って接続することにより、外部スピーカーとして使うことができます。
●コードを接続するときや取り外すときは、必ず双方の電源が切れた状態で行なってください。



1 電源が切れている状態で、本機と外部機器を接続します。
●左図を参照して正しく接続してください。

2 電源／モード切替ボタンを押して電源を入れ、さらに数回押して、AUX IN(AU)を選びます。さらに外部機器の電源も入れます。
●電源／モード切替ボタンを押すたびに、FM放送(周波数表示)→AM放送(周波数表示)→Bluetooth(bt)→USBフラッシュメモリー(USb)→SDカード(Sd)→AUX IN(外部音声入力：AU)の順でモードが切り換わります。
●それぞれのモード表示は、約3秒後に時刻表示に戻ります。
●突然大きな音が出るのを防ぐため、双方の音量を絞ってください。

AUX IN(外部音声表示ランプ点灯)

3 外部機器側で再生などの操作をします。

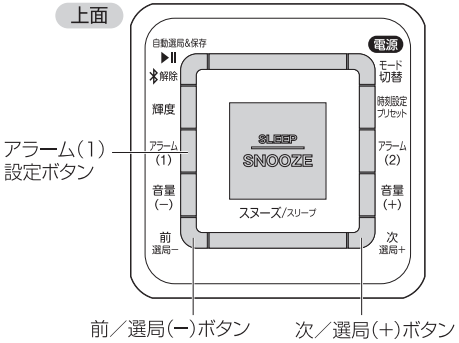
4 音量を調節します。
●音量の上げすぎにご注意ください。周囲の迷惑になるだけでなく、聴覚に悪い影響を及ぼすおそれがあります。
●接続機器側の音量調節機能を本機で操作することはできません。
●音量調節は本機及び外部機器側のどちらでも可能ですが、できるだけ本機の音量は一定に保ってください。他のモードに切り換えたとき、突然大きな音が出ることがあります。

ご注意 本機の音量を「00」にした場合、時刻表示に戻った際、時刻が点滅します。

5 終了するときは、電源／モード切替ボタンを長押しして電源を切ります。
●コードを取り外すときは、必ず電源を切ってから行なってください。

アラームの使いかた

アラーム設定は電源が切れている状態で行なってください。



本機では、アラーム(1)とアラーム(2)の2つの設定を使い分けることができます。また、それぞれのアラームは、起動時の音源(アラーム音)として、電子音またはFM放送を選ぶことができます。

※ここではアラーム(1)への設定方法を説明します。アラーム(2)へ設定したい場合は、説明文中の「アラーム(1)設定ボタン」を「アラーム(2)設定ボタン」に、「アラーム(1)ランプ」を「アラーム(2)ランプ」に読みかえて操作してください。

※アラーム音によって設定方法が異なりますのでご注意ください。

電子音をアラーム音として使う場合

❶ アラーム(1)設定ボタンを短く押した後、前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)で「bb」を選びます。

●アラーム(1)ランプが点滅し、前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)を押すたびに、bb ／ FM周波数表示／ OFFの表示が切り換わります。

●「bb」が表示されている状態で3回点滅すると設定が確定します。

●アラーム設定が有効なときは、アラーム(1)ランプが点灯します。

アラーム(1)ランプ

「bb」とアラーム(1)ランプが点滅

❷ アラーム(1)設定ボタンを長押しします。

アラーム時刻の設定画面が表示されます。

時刻表示とアラーム(1)ランプが点滅

❸ 前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)でアラーム起動時刻を設定し、アラーム(1)設定ボタンを押します。

●「時」の設定は前／選局ボタン(−)で、「分」の設定は次／選局ボタン(+)で行なってください。

●設定が確定すると時刻表示に戻ります。

時刻表示とアラーム(1)ランプが点滅

▼

アラーム設定が有効なときは、アラーム(1)ランプが点灯

FM放送をアラーム音として使う場合

アラーム音として使いたいFM放送局をプリセット登録しておく必要があります。あらかじめ「プリセット登録について」(P.12)を参照して、放送局を登録してください。

❶ アラーム(1)設定ボタンを短く押した後、前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)で周波数表示を選びます。

●アラーム(1)ランプが点滅し、前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)を押すたびに、bb ／ FM周波数表示／ OFFの表示が切り換わります。

●周波数が点滅している間に、すぐにステップ❷の操作を行なってください。

周波数表示とアラーム(1)ランプが点滅

❷ 周波数が点滅している間に、時刻設定／プリセットボタンで設定したい放送局の周波数を選びます。

●時刻設定／プリセットボタンを押すたびに、プリセット登録されている放送局の周波数を順に表示します。

●設定したい放送局の周波数が表示されている状態で3回点滅すると設定が確定し、時刻表示に戻ります。

●アラーム設定が有効なときは、アラーム(1)ランプが点灯します。

周波数表示とアラーム(1)ランプが点滅

❸ アラーム(1)設定ボタンを長押しします。

アラーム時刻の設定画面が表示されます。

時刻表示とアラーム(1)ランプが点滅

❹ 前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)でアラーム起動時刻を設定し、アラーム(1)設定ボタンを押します。

●「時」の設定は前／選局ボタン(−)で、「分」の設定は次／選局ボタン(+)で行なってください。

●設定が確定すると時刻表示に戻ります。

時刻表示とアラーム(1)ランプが点滅

❺ 前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)でアラーム起動時の音量を設定し、アラーム(1)設定ボタンを押します。

●通常の音量調節は音量(−／+)ボタンで行ないますが、この場合は前／選局ボタン(−)または次／選局ボタン(+)で行なう点にご注意ください。

●設定が確定すると時刻表示に戻ります。

●アラーム設定が有効なときは、アラーム(1)ランプが点灯します。

ご注意 アラーム作動後は、放送局と音量が上記で設定したものになります。

音量表示とアラーム(1)ランプが点滅

▼

アラーム設定が有効なときは、アラーム(1)ランプが点灯

ヒントとご注意

●アラーム(1)とアラーム(2)を同時に使用することはできません。

●アラームの設定を確認するには：
アラーム(1)設定ボタンを短く押すたびに、起動音設定→アラーム起動時刻設定→音量設定(FM放送を起動音として選択している場合のみ)→現在の時刻を表示します。

●アラーム設定を解除するには：
アラーム(1)設定ボタンを短く押した後、スキップ／選局ボタン(−／+)を数回押して「OFF」を選んでください。3回点滅した後に設定が解除され、ディスプレイのアラーム(1)ランプが消灯します。

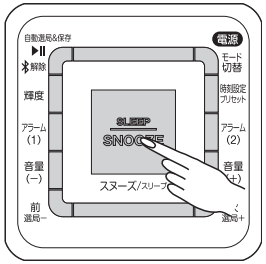
●アラームが鳴ったら：
アラームを止めるには、任意のボタンを押します(スヌーズ／スリープボタンを除く)。また、FM放送の場合は、電源を切ってください。ただし、この状態ではアラーム(1)ランプが点灯したままになっており、翌日の同時刻に再び起動します。起動させたくないときは、必ず上記「アラーム設定を解除するには」の操作を行なってください。

●スヌーズについて：
アラームが鳴っているときにスヌーズ／スリープボタンを押すと、一時的にアラーム音が停止し、9分後に再び鳴ります。スヌーズ中はアラーム(1)ランプが点滅します。スヌーズ中に次の起動を停止させたいときは、電源／モード切替ボタンまたはアラーム(1)設定ボタンを押してください。

●ご注意：アラーム起動後に放置すると1時間にわたって鳴り続けます。周囲への迷惑になりますので絶対にしないでください。

スリープ機能

上面



自動的に電源が切れるまでの時間を、90分〜10分まで10分単位で設定できます。

【設定のしかた】 電源が入っているときに、スヌーズ／スリープボタンを押します。押すたびに90から10分単位で変化しますので、設定したい表示になったら押すのをやめてください。そのまましばらくすると設定が確定し、時刻表示に戻ります。スリープ機能が有効なときはスリープランプが点灯します。

スリープランプが点灯

【解除のしかた】 設定したスリープ機能を解除するには、「OFF」が表示されるまでスヌーズ／スリープボタンを数回押してください。スリープ機能が解除されるとスリープランプが消灯します。

【残り時間を確認するには】 スリープ機能が有効なときにスヌーズ／スリープボタンを押すと、電源が切れるまでの残り時間を表示します。しばらくすると時刻表示に戻ります。

ヒントとご注意

●スリープ機能により電源を切ることができるのは本機のみです。Bluetooth接続時やAUX IN接続時における外部機器の電源を切ることはできません。

●あらかじめアラームを設定しておくことにより、スリープ動作後、例えば翌朝などに本機を起動させることはできます。

故障かなと思ったら

	症　状	チェック項目
共通	電源が入らない	○電源プラグが外れて(ゆるんで)いませんか。
	音が出ない	○音量が最小になっていませんか。 ○モードは正しく選ばれていますか。
	ディスプレイが暗い	○輝度ボタンで調整してみましたか。
ラジオ	ラジオに雑音が入る	○近くで携帯電話を使用していませんか。 ○テレビや蛍光灯の近くでAM放送を受信すると雑音が入ることがあります。また、テレビの近くで本機を使用すると、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは本機をテレビから離してください。
Bluetooth	接続できない 再生音が出ない	○ペアリングは行ないましたか。 ○Bluetooth機器の設定で他の機器が接続先に選ばれていませんか。 ○Bluetooth機器との接続が解除されていませんか。 ○Bluetooth機器側の音量が最小または消音になっていませんか。
	音が途切れる	○本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。 ○本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。 ○周囲に無線LAN機器や電子レンジなど、電波を発する機器がありませんか。Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ○周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
USBフラッシュメモリー／SDカード	メディアを認識しない 再生が始まらない	○USBフラッシュメモリーやSDカードがそれぞれの接続端子に正しく装着されていますか。奥までしっかりと差し込まれていますか。 ○音楽／音声ファイルが正しく記録されたメディアをお使いですか。空のメディアを装着していませんか。 ○MP3形式以外のデータが含まれていませんか。 ○メディア内のデータが壊れていませんか。 ○規格外のメディアを使用していませんか。
	メディアを差し込めない	○差し込む向きは正しいですか。
AUX IN	外部機器の音が出ない	○AUX IN(外部音声入力:AU)モードになっていますか。 ○φ3.5mmステレオミニプラグコードが正しく双方の機器に接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ○外部機器の音量が最小または消音になっていませんか。
その他	アラームが機能しない	○起動時刻を正しく設定しましたか。 ○起動時刻設定時に午前と午後を間違えていませんか。
	アラーム音(FM放送)が大きい(小さい)	○アラーム設定時の音量が大きすぎたり小さすぎたりしていませんか。 ※アラーム起動音としてFM放送を選んだ場合のみ設定可能です。
	アラーム音(FM放送)にノイズが入る	○アラーム起動時刻における電波状態は良好ですか。ラジオの受信状況は時刻によっても変化します。事前に同じ時間帯で試すなどして、受信状況をご確認ください。

お手入れのしかた

●本体や操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後に乾拭きをしてください。
●シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

主な仕様

電源	AC100V　50／60Hz
	時計用バックアップ電源：DC3V　単3形乾電池×2本（別売）
消費電力	10W　　※電源オフ（時刻表示）時：2W
実用最大出力	2W
スピーカー	口径76mmスピーカー（3W　4Ω）×1
ラジオ受信周波数	AM：522～1620kHz（9kHzステップ）　FM：76～108MHz（0.1MHzステップ）
アンテナ	AM：内蔵フェライトバーアンテナ　FM：ワイヤーアンテナ
Bluetooth通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.2.1+EDR
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	GFSK ／ 2.4000GHz～2.4835GHz
最大通信距離	見通し 約10m（Class2）
対応メディア	USBフラッシュメモリー：8GB～32GB
	SDカード：8GB～32GB
フォルダー・ファイル	999フォルダー（最大8階層）／ 1999ファイル
再生可能フォーマット	MP3（ビットレート：32～320kbps） ※DRM付きファイルの再生はできません。
接続端子	SDカードスロット（SD、SDHC）
	USB端子（USB2.0対応）
	AUX IN（外部音声入力）端子（φ3.5mmステレオミニプラグ）
外形寸法	幅100mm×高さ100mm×奥行100mm（突起物含まず）
質量	約720g（時計バックアップ用乾電池を含まず）
時計精度	月差±30秒
付属品	保証書付取扱説明書

※Bluetooth及びBluetoothロゴは米国Bluetooth SIG,Inc.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。その他、本書に記載されている商品名、システム名、社名などは、一般に各社の商標または登録商標です。
※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが実際の製品と一部異なる場合があります。
※本製品は、特定無線設備として日本国電波法第38条の24第1項の規定に基づく認証を受けております。

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは
修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
●保証期間中は
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
●保証期間が過ぎた場合は
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。